

貸出履歴を利用した新しい利用者支援の展開

# *Project Shizuku*

## 新しい利用者サービスへの挑戦

—大学生4人が挑んだ  
図書館情報システム“革命”への第一歩

Project Shizuku

小野 永貴

(筑波大学 図書館情報メディア研究科,  
筑波大学 産学リエゾン共同研究センター)

The logo for Project Shizuku, featuring the word "Shizuku" in a stylized blue font with a white outline. The letter "i" is orange. To the right of "Shizuku" is a blue water drop shape containing the word "beta" in white lowercase letters. The background of the slide shows a computer monitor and keyboard on a desk, with a book standing upright to the right.

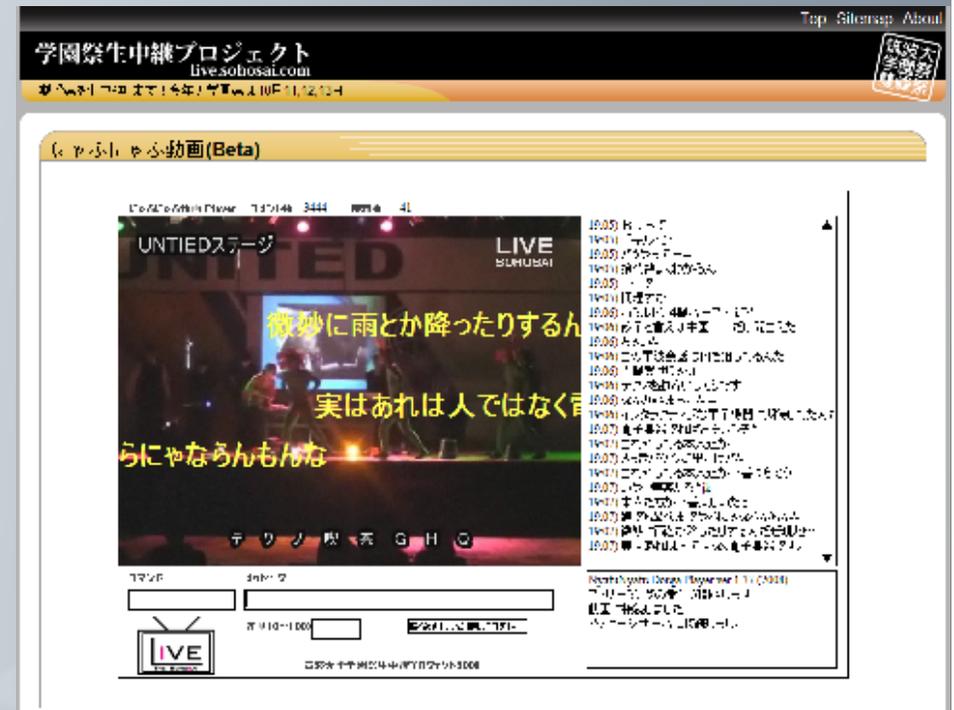
# おのはるき

## ■小野永貴

- 筑波大学 図書館情報メディア研究科 博士前期課程1年  
(大学：筑波大学図書館情報専門学群)

## - 大学はAC入学

- 筑波大学発ベンチャーで開発
  - 映像処理系, Webサービス系
- 大学では様々な活動を運営
  - コミュニティWebサービス開発
  - 学園祭生中継プロジェクト
    - にゃふにゃふ動画



Shizuku beta



# Project Shizuku とは？

- **未踏ソフトウェア創造事業**（未踏IT人材発掘・育成事業）
  - 経済産業省 情報処理推進機構 主催
  - 優れたプロジェクト・人材を発掘し支援する公募事業
- 「未踏ユース」部門
  - 若者限定，約半年間で開発，300万円までの支援



平成19年に採択され **図書館システム研究開発** を行った

# 未踏ユース 採択テーマ

本の向こうに誰かが見える

利用者の“つながり”を創る、

次世代図書館情報システム

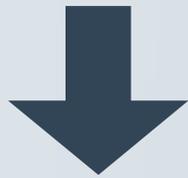


貸出履歴情報 を活用した新サービスの機能を試作

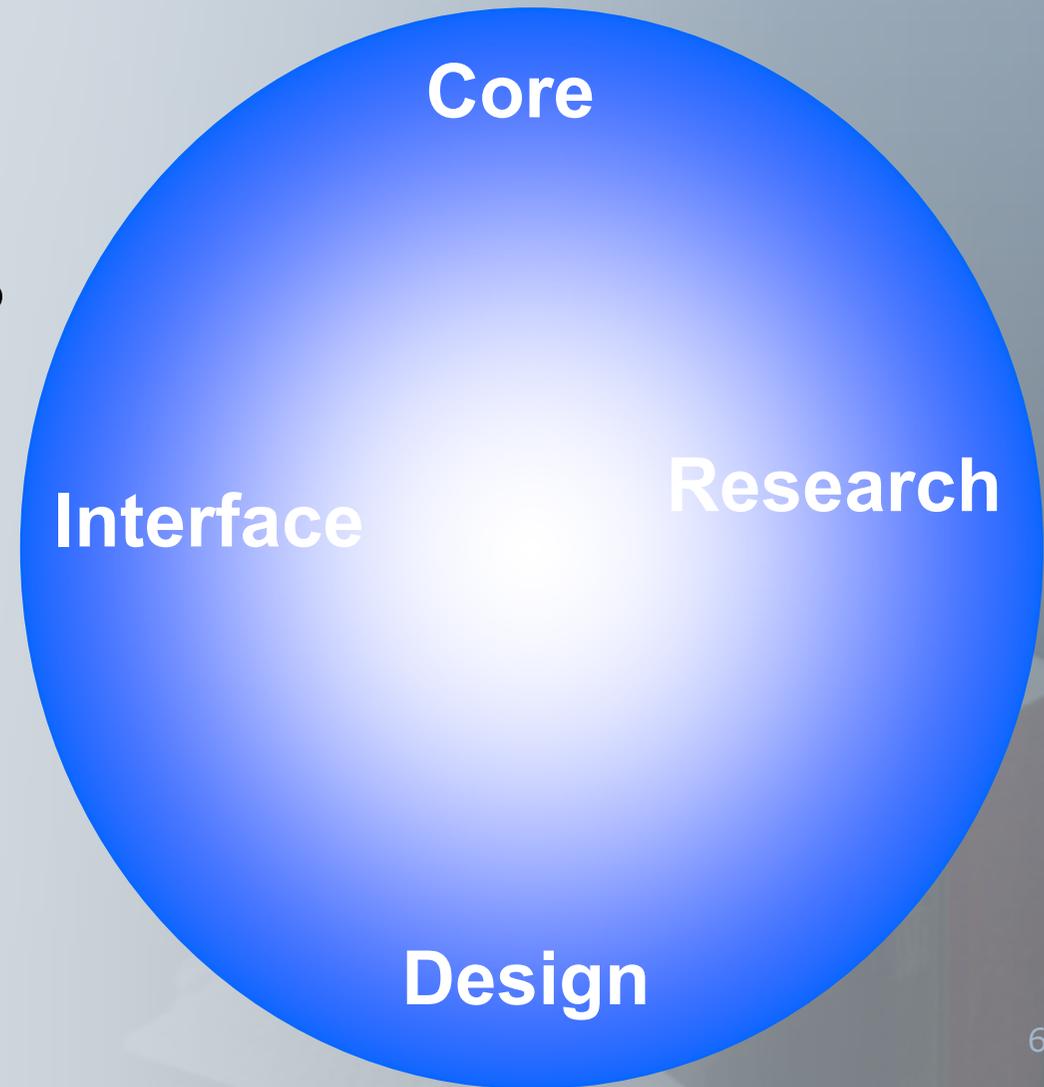
# 開発メンバ

## ■ 筑波大学生 4 人

- 図書館情報専門学群
- しかし専門は全く異なる
- 役割を分担



図書館システム開発  
最強のコラボ



# Project Shizukuの目的

- **貸出履歴情報 を活用した新しいサービス**
  - 貸出履歴を活用するとこんな新しいことができる
  - 図書館システム = 蔵書・貸出管理システムからの脱却
  - **利用者サービス中心**の新しい図書館システムの在り方
  - 図書館システムも次の一歩に進むべき！



**プロトタイプ**を示して図書館界へ主張したい

Shizuku<sup>beta</sup>

背景



# Project Shizuku

## ■映画「耳をすませば」

- 1995年
- スタジオジブリ制作
- 主人公「月島雫」
  - 本が大好き
  - 図書館をいつも利用



# 耳をすませばの超要点

**(配布版注記)**  
**是非映画をご覧ください！**

# 提案の背景

## ■ 図書館の魅力

- かつての図書館は「本」を媒体として、そこに**他者を感じる**ことができる場であった
- **メディアを共有している感覚**

## ■ 現代の図書館

- 現在の図書館は、そのような人間同士の“**つながり**”の感覚は存在するだろうか？

# 提案の背景

- **図書館のコンピュータ導入**
  - 図書館業務システムによる貸出処理
  - **貸出カード**は使われなくなった
  - **貸出履歴データ**は破棄が原則



本を媒介とした **コミュニケーション** は困難に！

# 図書館の現状

- **情報システムの導入により...**
  - 図書館の「業務」は簡便化されたが
  - 利用者の“**つながり**”は失われてしまった
  - そして図書館は“**貸本屋**”へ...



# だからこそ...

- **システムで図書館をもっと楽しい場所に！**
  - 利用者のつながりによる図書館の新たな**楽しさ**の発掘
  - 未知の書籍との**出会い**・図書館資料の有効活用
  - 図書館利用の**活発化**へ！



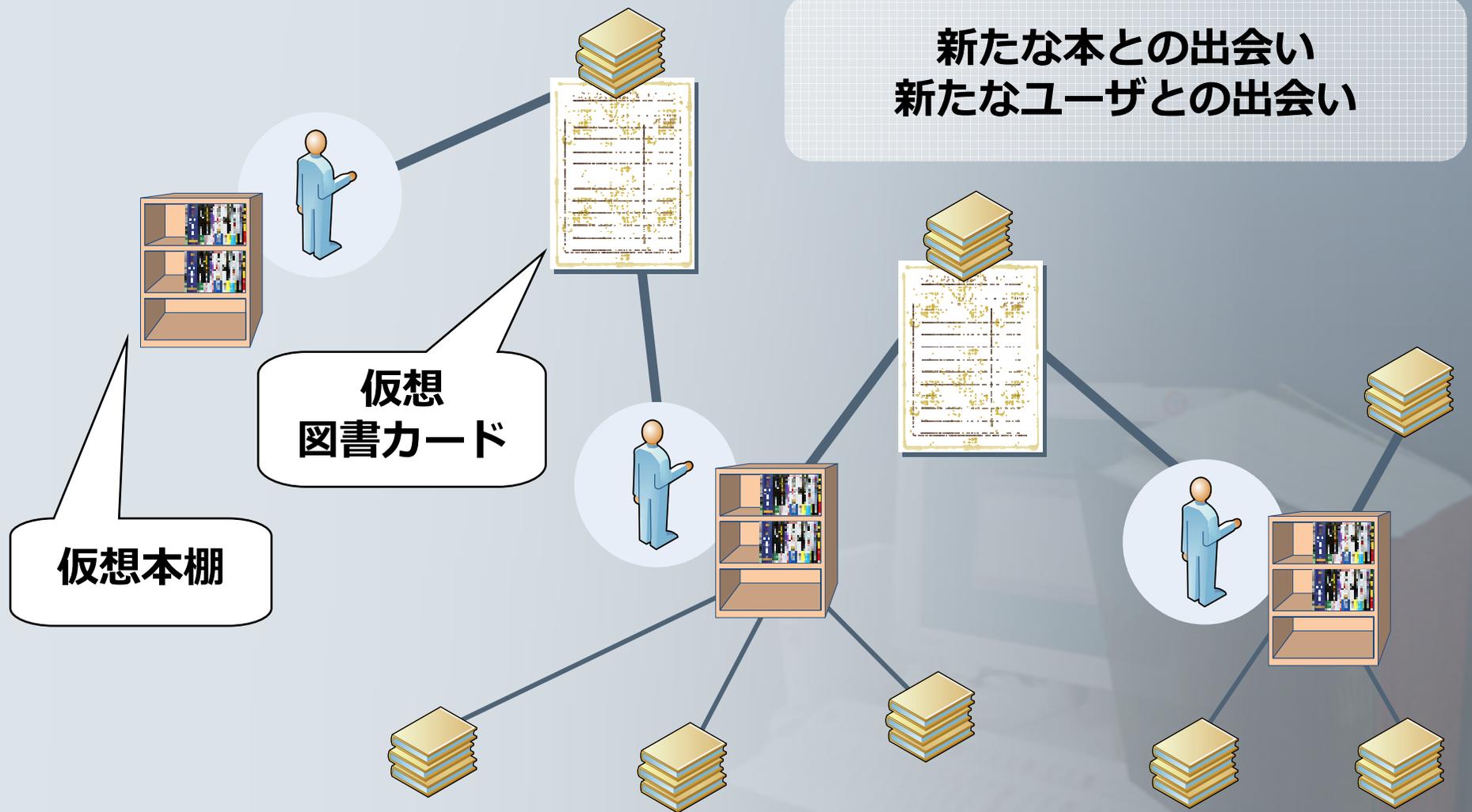
利用者の **つながりを創る** 図書館情報システムの提案

The logo for 'Shizuku beta' features the word 'Shizuku' in a stylized, rounded font. The 'i' is orange, and the 'z' is blue. A blue water droplet shape is positioned above the 'u', containing the word 'beta' in a smaller, white font. The background of the entire image is a dark blue gradient with a faint, semi-transparent grid pattern.

Shizuku<sup>beta</sup>

プロトタイプシステム

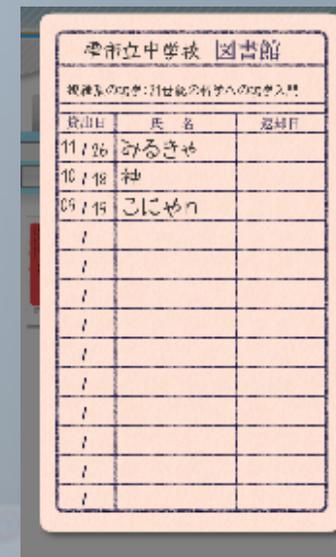
# 貸出履歴活用のイメージ



# 貸出履歴の活用機能

## ■ 貸出履歴情報のビジュアライズ

- 書籍提示インタフェース「**仮想本棚**」
- 本棚が 書籍による自己表現の場 になる
- 本棚毎に**公開/非公開設定**



市立中学校 図書館

検索窓の向き: 1冊あたりの向きへの向き変更

取山日	氏名	返却日
11 / 26	みるきや	
10 / 18	袖	
09 / 19	こにやり	
/		
/		
/		
/		
/		
/		
/		
/		
/		
/		
/		
/		
/		

## ■ 仮想図書カード

- 図書カードから**別の利用者の本棚**にジャンプ

## ■ 図書館固有情報を活用した分析

- 貸出履歴情報と書誌情報を類似計算
- ユーザの**レコメンド・自動分類**



Shizuku<sup>beta</sup>

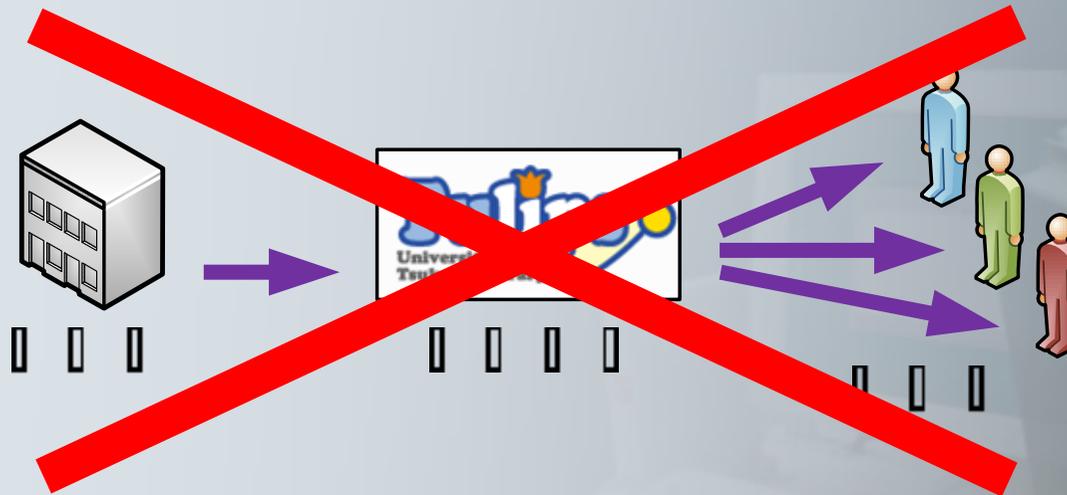
まとめ

# プロトタイプシステムでは...

- **貸出履歴情報のサービスへの展開**
  - 貸出履歴データの視覚化
  - 貸出履歴データと書籍データの分析
  - 新たな電子的サービスの提供
- **Webブラウザ上で動くWebサービスとして実装**
  - 近年、OPAC等もWeb上で検索できるのが主流
  - 図書館での端末 → **自宅・どこからでもWebでアクセス**

# 図書館サービスのWeb化

- Webを通して図書館へアクセスできる
  - 利用者にとって便利になった
  - その反面、ライバルも増えた



# 図書館サービスのWeb化

## ■ Webを通して図書館へアクセスできる

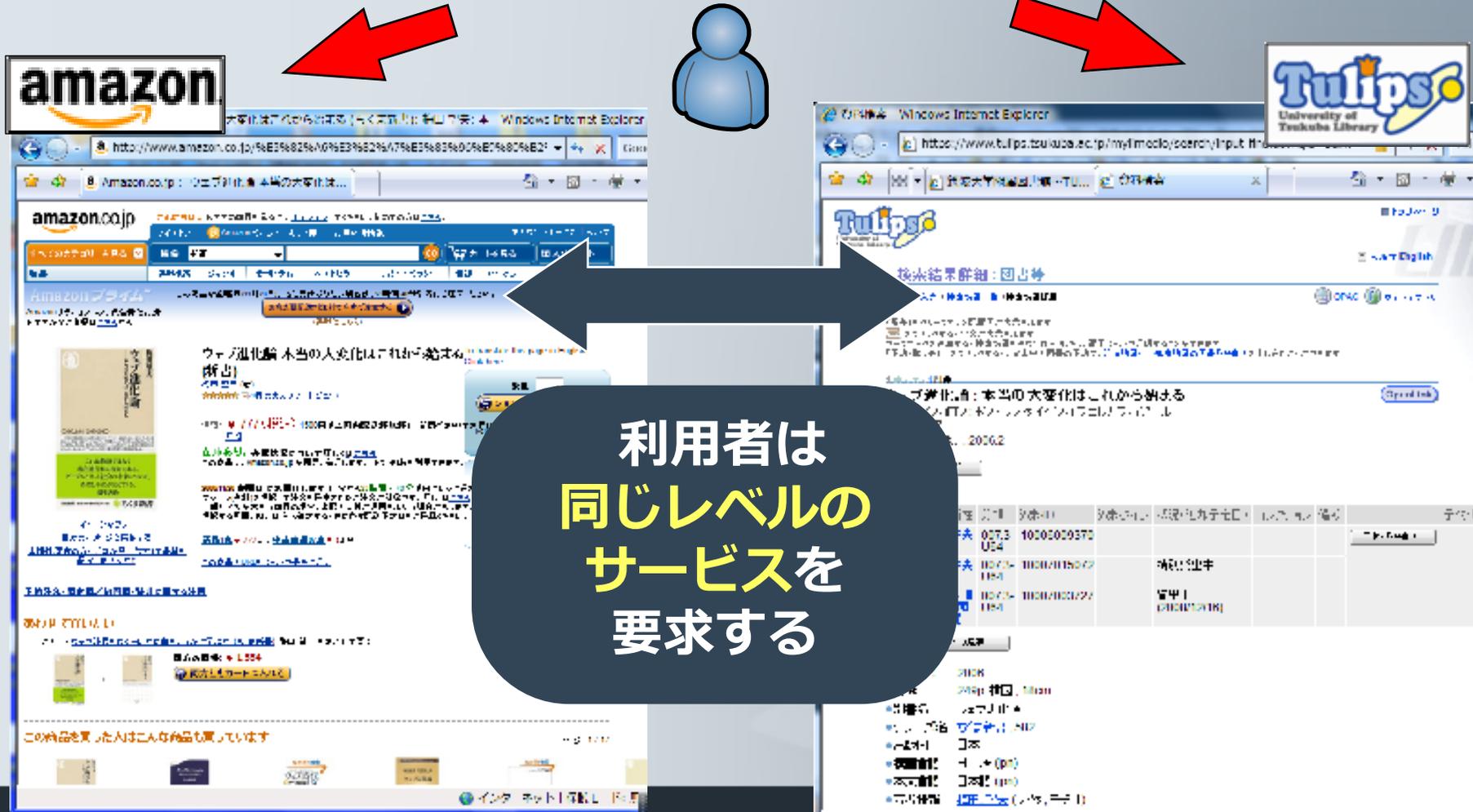
- 利用者にとって便利になった
- その反面、ライバルも増えた

一般利用者からみれば  
どれも **本の入手先!**



# 利用者から見れば...

本の入手する...



# Webサービスにはデータが不可欠

## ■ Webサービスは「データ」が命

- AmazonやGoogleは膨大なデータを保持
- 大量のデータを分析・処理し
- ユーザにマッチしたサービスを提示する
- **大量のデータを収集する**事に各Webサービスは必死



図書館は既に**貸出履歴**というデータ源を持っている！

# おわりに

## ■ 私たちができることの限界

- 図書館システムは高品質・高精度が要求される
- 個人で図書館システム自体を開発するのは困難
  
- Project Shizuku
  - プロトタイプシステムを提示することによって、  
**新たな図書館サービスの展開の重要性をアピール**

**図書館システムの世界が変わっていく一歩になれば**